

I. 令和7年度実施「学校評価アンケート」について

学校としては、毎年その年度の教育活動を総括し、次年度に向けての課題を探ってきました。取組みについて、生徒、保護者からも「学校評価アンケート」という形で評価を受け、教育活動の点検と、改善に生かしていきたいと、ご協力をお願いした「生徒・学生・保護者アンケート」の結果及び「教職員による自己評価アンケート」の結果につきましては別表の通りです。

このアンケートの結果につきましては、保護者会にて報告しています。

II. 「アンケート」結果の見方について

- (1) 評価項目については、次の4段階〔A：良くあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない〕で回答をお願いしています。

評価レベルとしてはABを肯定評価、CDを否定評価としてとらえ、課題を整理してみました。

- (2) 高い評価を得た項目については、その評価を落とすことなく更に充実した取組みを致します。

- (3) 学生・生徒（商業科・専攻科）共に80%以上の高い評価を得た項目

今年度において、商業科・専攻科ともに高い評価を得た項目が多く取組みの結果と考えます。

今後においても引き続きその評価を落とすことなく更に充実した取組みを致します。

	商業科	専攻科
私は、学校から保護者へのプリントは必ず渡している。	86%	96%
私は、この学校に信頼できる・悩みなど相談できる人(友人・先生など)がいる。	86%	84%
本校の行事予定・警報発令時等の対応について、生徒や保護者に周知されている。	89%	100%
本校が、保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	94%	96%
本校では、それぞれが自分の意思を表現しやすい環境である。	86%	96%
本校では、保護者会の活動は活発であると感じられる。	86%	92%
教職員はお互いに相互理解がなされ、信頼関係のもと学校運営に努めていると感じられる。	86%	92%
本校は、わかりやすい授業を行っていると感じられる。	89%	96%
本校の先生は、授業や教科の質問に対応してくれる。	91%	96%
本校は、H.Rの時間などで豊かな心を持ち、自分の生き方を考える機会がある。	86%	88%
本校は、生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている。	91%	96%
本校の先生は、色々な問題があったとき丁寧に对应してくれる。	86%	92%
本校の先生は、生徒の悩みや相談を聞いて丁寧に对应してくれる。	82%	88%
本校の生活指導について、先生方の指導は適切である。	88%	100%
本校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	86%	96%
本校では、他の人に知られたくないプライバシー(個人情報)は守ってくれる。	89%	92%
本校は、生徒が健康で健全な学校生活を送れるように努めている。	86%	96%

III. 否定評価において、79%の項目があり改善策等が必要な項目と考えます。

今後も生徒の心に響く、より懇切丁寧な指導を追求したいと考えていきます。

結果より今年度の取組みの成果としてとらえ継続していきたいと考えます。

	商業科	専攻科
私は、授業中、私語や居眠りをせず、一生懸命勉強しようとしている。	74%	89%
行事や学校での活動で、みんなが楽しく参加できるよう心掛けて協力している。	72%	89%
私の学校生活は、充実していて、学校へ行くのが楽しみである。	74%	68%
教職員はお互いに相互理解がなされ、信頼関係のもと学校運営に努めていると感じられる。	79%	95%
本校は、H.Rの時間などで豊かな心を持ち、自分の生き方を考える機会がある。	82%	79%

IV. 『教職員による自己評価アンケートについて』

肯定評価が多数ではありましたが、教職員の研修についても主体的に取り組み、また継続的に研修を行っていきたい。
今後も生徒の心に響く、より懇切丁寧な指導を追求したいと考えております。

引き続き教員研修は下記の通り実施して参ります。

【教職員研修】

必要な教育課題で校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めていくためには教職員研修は欠かせません。
毎年下記の学会や研修等に参加・発表しております。

実践研修講座（全国専攻科研究会） ・ 全国専攻科研究会全国大会
日本LD学会 ・ 日本特殊教育学会 ・ 日本教育心理学会 ・ SNE学会 等

VI. 商業科・専攻科の保護者にはほぼ全ての項目において80%以上の高い肯定評価を得ました。

肯定評価が79%以下の項目は、ありませんでした。

今後においても79%を下回ることのないように、懇切丁寧に保護者と共に生徒・学生を中心として取り組んでいきたい。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
肯定的評価の概況（80%以上） ・商業科生徒・・・20項目中、16項目（80%） ・専攻科学生・・・20項目中、18項目（90%） ・保護者・・・20項目中、20項目（100%） ・教職員・・・20項目中、20項目（100%） 肯定評価が79%を下回る項目 【生徒・学生】 ○改善を要する項目 私は、授業中、私語や居眠りをせず、一生懸命勉強しようとしている。（商業科74%） 行事や学校での活動で、みんなが楽しく参加できるよう心掛けて協力している。（商業科72%） 私の学校生活は、充実していて、学校へ行くのが楽しみである。 （商業科74%、専攻科68%） 教職員はお互いに相互理解がなされ、信頼関係のもと学校運営に努めていると感じられる。（商業科79%） 本校は、H.Rの時間などで豊かな心を持ち、自分の生き方を考える機会がある。（専攻科79%） 【保護者】 改善をする項目については、ありませんでした。今年度、肯定評価のみであった。 これからも生徒・学生に向き合い、人間関係づくりに重点をおき、コミュニケーションについて取りくんでいく。 学校行事・課外活動により、学校外での活動を今後も積極的にを行い、小学校・中学校では、できてこなかった経験・体験を多く積み重ね成長につなげていきたいと考える。 今後もこの結果が維持できるように日々の取り組みを大切に活動していきたい。	令和7年9月に学校評価委員会を実施。 【主な意見】 豊かな心と仲間との学び： 学校での活動を通じて、豊かな心を育み、仲間と一緒に学び合える教育を行ってほしい。 興味関心を引き出す授業と行事： 生徒がより興味・関心を持てる授業展開や行事を、社会の変化に合わせて取り組んでほしい。 多様な経験の提供： 学校内外で多くの経験を提供し、特に思春期・青年期の大切な時期に仲間とともに楽しめるように取り組んでほしい。 健康意識と体調管理： 健康への意識を高め、食事や体調管理の徹底についても取り組んでほしい。 継続的な教育の提供： 学生の生活や進路に関する課題が多様化している社会においても、今後も変わらない教育を継続してほしい。 宿泊体験の実施： 宿泊体験などの生活感を持てる活動を多く実施し、協働の大切さを体験できるようにしてほしい。 生徒の悩みや話を聞く時間の確保： できる限り生徒の悩みや話に時間を取って聞いてほしい。 関係づくりの深化： 日々の生活の中で、お互いの関係づくりをより一層深められるようにしてほしい。 人権教育の強化： 人権教育に特に力を入れ、お互いの理解や豊かな人間性、自ら学び考える力などの「生きる力」を育てられるように今後も取り組んでほしい。 個人情報の配慮と友人関係の構築： 生徒の個人情報に配慮しつつも、お互いの人間関係については、真の友だち関係が築けるように取り組んでほしい。 災害の備え・訓練： 地震や台風などの自然災害に備えるため、日常的な備えや避難経路・避難場所の確認を行い、避難訓練を実施して、生徒が実際の災害時に適切な行動を取れるようにしてほしい。

〔まとめ〕

学校評価はその結果に基づいて、教育活動と学校運営を改善し、教育水準の向上を図るために行うものです。

「自身の振り返り」「学校運営に関して」「教育活動（学習指導、生活指導、人権・健康・教育）」のいずれの項目でも高評価を得ました。特に教師は授業の改善に取り組んでいるか、教科指導で生徒の質問には丁寧に応えているか、生徒指導では適切な対応をしているかなどです。しかし、学校としてはこれらに満足せず常に点検し、今後もこのような評価を受けていきたいと考えています。

また「生徒・保護者のアンケート」及び「教職員による自己評価アンケート」では多くの項目で高い評価を受けたと同時に、学校としての課題も浮かび上がってきました。それらの課題を改めて検証し取り組む中で、更に教育活動と学校運営の改善を図っていきます。改めて時代に即した教育を行いたいと思います。

今後ともこの学校評価の取り組みは続けて参りますので、各位のご協力をよろしくお願い致します。